

科目名	インテリアデザイン	英語科目名	Interior Design
開講年度・学期	平成21年度 後期	対象学科・専攻・学年	建築学科3年
授業形態	講義+演習	必修 or 選択	選択
単位数	1単位	単位種類	履修単位(30時間単位)
担当教員	佐藤篤史	居室(もしくは所属)	建築学科棟3階
電話	0285-20-2833	E-mail	a-sato@oyama-ct.ac.jp
授業の達成目標			
1) インテリアの各種要素を学び、その歴史や人間工学等の基礎知識を習得する。 2) 人体や家具の実測及び実測値による図面の作図により、家具の基本寸法及び人体寸法との関係を習得する。 3) 色彩や空間心理などの基礎知識を習得する。 4) 人間の感性(イメージ)を形に表現するプロセス及びその関係性を習得する。			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
1. 試験は学年末に行い、60%以上の成績で評価する 2. 演習問題や課題については、提出状況、提出内容また口頭発表の内容を設定水準で評価する			
評価方法			
評価は下記のことを考慮して総合的に行う。 1. 期末試験(40%) 2. 演習課題(40%) 3. ホームワーク(10%) 4. 受講態度(10%)			
授業内容			
1. インテリアデザイン概論 1週 内側からの発想、建築計画におけるインテリア計画の位置付け 2. 我が国の住宅の変遷 2週 伝統的な和室からダイニングキッチンが発生まで 3. インテリアデザインと人間工学 3週 人体計測、動作空間、行動特性、安全性、 3. インテリア・家具の歴史 1週 西洋のインテリア、デザインの様式 5. インテリアデザインと空間の心理 1週 対人距離、パーソナルスペース 6. インテリアエレメント 1週 テクスチャー、家具、照明、テキスタイル 7. インテリアと色彩 3週 色彩の基礎知識、色彩がインテリアの雰囲気及ぼす影響について学ぶ 8. 人間の感性(イメージ)とデザイン 3週 インテリアエレメントと人間が受けるイメージ(印象)の関係 イメージを形や色に落とししていくプロセスを、課題を通して学ぶ <定期試験> 9. 試験問題解説 1週			
キーワード	インテリア、家具、人間工学、色彩、		
教科書	インテリアデザイン教科書(彰国社、1993)		
参考書	1. 小原二郎他 「インテリアの計画と設計」(彰国社、1986) 2. 小原二郎 「人間工学からの発想」(ブルーバックス、1982) 3. 「インテリア空間と要素をデザインする」(彰国社、1994)		
小山高専の教育方針①~⑥との対応	②		
技術者教育プログラムの学習・教育目標			
(A-1) 科学や工学の基本原則や法則の基礎知識を身につけること。			
JABEE 基準1の(1)との関係	d(1), (g)		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	建築製図Ⅱ		
現学年の関連科目	建築計画Ⅰ		
次年度以降の関連科目	建築計画Ⅱ、建築意匠		
連絡事項			
1. インテリア空間は人間が生活する場であり、あるいは働く場であり、居住の重要な場である。その重要性を認識してもらいたい。 2. 試験は時間を50分とし、テキスト、配布資料の持ち込みを可とする。			
シラバス作成年月日	平成21年2月27日		